

白井梨ブランデー 公募常務 元新日本プロレス社長 草間政一氏が就任へ

「100%自信あり」と本紙に語る

第3セクター「白井梨ブランデー株式会社」(山崎博男社長)の常勤取締役任に、元新日本プロレスリング社長で経営コンサルタントの草間政一氏(56)が就任することになった。草間氏は10月31日に開かれる同社の臨時株主総会で正式に就任する。約2億円の累積赤字を抱えて経営危機が続く同社。重責を担うことになった草間氏だが、本紙に自信のほどを語った。



草間氏は同社の赤字に「待った!」をかけられるのが

十二人の応募者から抜擢される

白井梨ブランデー経営改善検討委員会は今年3月末、平成20年度決算来(年3月末)で赤字が実現しなければ、事業からの公募した。ちなみに月収

新聞で公募を知り応募

実績もあることから選ばれたという。

なぜ草間氏は白井梨ブランデーの常務に応募したのか。本紙の質問に、「新聞で募集を知りました。経営コンサルタントをしているので、興味があった。ホームページなどで梨ブランデーのことを調べてみて、これだったら応募して(再建を)助けてやろうと思ったんです」と草間氏。

はたして同社再生の自信はあるのかと問うと、「東京でもない地方の第3セクターで失敗する悪くなってしまう。そういう意味で、自信は100%です」と自信たっぷり。

「白井駅前広場を守る会」

市側の動きに警戒強める

では、その戦略は? 「味が良ければ、ボトルのデザインとか価格設定も考え直し、宣伝をうまくやりさえすれば売れるものです」

草間氏はドイツのアパレルメーカー「トリンプ・インターナショナル・ジャパン」の財務部長や米

国企業の副社長などを経て、04年5月にアントニオ猪木氏に実績を買われて新日本プロレスリング株式会社社長に就任。赤字だった同社を1年で黒字にし、「プロレス業界のカルロス・ゴーン」と評されたことも。「ハッスル」を運営するDSEのGM(ゼネラル・マネージャー)も務めた。現在は経営コンサルタントとして講演活動も多い。今年4月に流山市長選に出馬したが、惜しくも落選。草間氏の手腕に、関係者らの注目が集まっている。



白井駅前口の空き地に14階建ての高層マンションを建設することに反対する「白井駅前広場を守る会」のメンバー3名は10月22日午前、白井市役所を訪れ、中村教彰市長宛の陳情書を秘書室に提出した。

陳情書の内容は、市が情報公開を怠った市は、その責任をとって、都市整備公団(UR)に用地の買い戻し請求をすると同時にマンション建設の白紙撤回を求める、買収後には、駅前センター用地として、市民の利益に合う用途計画を策定する、市長は、住民の陳情に対して審議・検討した結果を公表し、反対住民の納得を得ずに協議書に押ししないというもの。

しるこい通信 vol.30
平成19年(2007) 11月号

発行部数 1万6000部 隔月刊
白井市南山1-3-8-101
TEL(047)492-2396
FAX(047)492-2364
編集人/草野富佐子
発行人/幸正純治

池の上小学児童保育、南山小学児童保育、白井ランチャーズ、太鼓衆、響きの4団体から成る「ふれあい会」主催の「秋のふれあい祭り」は、11月3日(土)午前10時から午後3時まで行われる。毎年、白井郵便隣の空き地で開かれていたが、マンション建設が予定されて

いるため、会場は白井駅前広場に変更された。

共同開催で、和太鼓やハンドベルの演奏、抽選と盛り沢山。フランクフルト、味噌おでん、焼きそば、焼き鳥、煮込みなど品多数)などイベントがの模擬店も多数出店する。

一方、ジョイントする白井駅前商店会主催の「あおぞら祭」には、フリーマーケットが出店する。参加費1区画500円。出店希望者は「アン美容室」(電話4911-0479)へ。当日は小雨でも決行し、大雨の場合は翌4日に順延。

「あおぞらまつり」と白井駅前広場で共催

介護保険・高齢者住宅改修補助金対応
白井市
バリアフリー
住環境相談会
連絡先 白井市商工会(電話492-0721)
一般のリフォームも承っています。

10月28日 白井駅前
美化活動
【作業時間】午前9時~10時
【集合場所】白井駅前広場(噴水の前)
毎月第4日曜日実施 雨天中止